

香港FA 木津英隆の **マネーは巡る**

第六回

将来的な
年金対策プラン



Profile: 謙信アセットコンサルティング(香港)代表取締役。香港在住歴8年の資産運用コンサルタント。特に団塊ジュニア世代向け年金・保険対策プランニングを得意とする。

年金対策は早めの準備を

今回は特に20代から40代の現役世代にお勧めしたい将来的な年金対策プランの話となります。日本の社会保障制度は少子高齢化に伴って、今後さらに財政が逼迫していくことが予想されます。消費税の増税に加えて、年金の支給開始年齢を70歳以上に引き上げることが政府内で真剣に議論されており、もはや国や企業の年金にはあまり期待しない方が良いのかもしれません。それを嘆いてばかりもいられないので、早い段階から自分の年金は自分で作る準備をしておくことが大切です。

新興国ファンドへの
積立投資

具体的な自分年金の作り方として、積立投資プランという方法があります。これは中国、インド、ブラジルなど今後の中長期的な経

済成長が期待できる新興国の株式ファンドを毎月一定額ずつ購入していくことで、中長期的な資産形成を目標とし、リタイア後は配当収入で生活していくためのプランとなります。例えば、1 USD = 100円換算で毎月5万円の積立金を25年満期で、年平均9%の利回りで運用できた場合、1500万円の積立元本に対して、25年後の資産形成額は約4700万円(元本の3.14倍)となります。満期後は年間5%前後の配当収入が期待できる債権ファンドで運用を継続すれば、毎年数百万円の配当収入を終身受け取ることも可能となります。元本と利回りが保障されたプランではありませんが、1986年から25年間、香港ハンセン指数に積立投資していた人は年平均10%の利益を享受できていたことから、今後の経済成長が期待できる新興国ファンドへの積立投

資を行えば、中長期的に目標リターンを達成することは十分可能だと思えます。

手堅い元本保証型プラン

そうは言っても、市場リスクを最小限に抑えて、少なくとも元本以上の利回りを確保したい方には元本保証型個人年金プランをお勧めしています。現在35歳の方が1 USD = 100円換算で年間100万円の保険料を15年支払う場合、総支払い保険料は上記の積立投資プランと同じ1500万円となります。これに対して、25年後の60歳時点で受け取ることができる解約返戻金の予定額は2607万円(元本の1.74倍)となります。60歳まで90歳まで毎月配当収入で受け取る場合の返戻金予定額は、毎月13万円+60歳時に一時ボーナス金の267万円が受け取れるので、90歳までに受け取ることが出来る返戻金の予定額は4901万円(元本の3.27倍)となります。本プランは元本と一定の利回りが保障されたプランとなりますので、低リスク、低リターンで運用されたい方向けのプランとなります。

リスクを低く抑えるには?

上記どちらのプランに魅力を感じるかは、一人一人のリスク許容度によって異なると思いますが、中長期的な運用が可能であれば、元本と利回りが保障されていない

積立投資プランでもリスクを低く抑えることは可能です。私自身も積立投資プランで2年前から自己年金の構築を行なっておりですが、これまでの運用成績は、過去2年間の市場変動が大きかったにもかかわらず、年率10%以上の利回りを維持することができています。積立投資を中長期的に成功させるコツは、景気後退でファンドの基準価格が下がったときに、焦って積立を止めてしまったり、それまでに積み立てた資金を引き出したりにしないで、ドルコスト平均法に従って、満期まで毎月一定額の積立資金を継続的に投資していくことです。世界の経済は人口の増加とともに成長していくものなので、今後の経済成長と人口増加が期待できる新興国ファンドを中心に積み立てていくことで新興国の経済成長の恩恵に預かることができ、老後の生活資金を確保することが可能となります。

今月のマネーの教訓

公的年金だけに頼ることなく、将来自分が受け取るための年金は、毎月の収入から一定金額を自動積立することで確保するべし。中長期的な運用が可能であれば、市場の価格変動を利用して、安定的な資産形成が可能となる。



将来の年金・保険対策はお済みですか?

「海外で作る自分年金セミナー」開催のお知らせ(参加費無料)

7月23日(土) 15:00~17:00 ▶ 広州友和酒店2F多目的室

7月24日(日) 13:30~15:30 ▶ 深圳粤海酒店11F会議室

7月25日(月) 19:30~21:30 ▶ 香港日本人倶楽部18F会議室

個別のご相談も随時受付中! /

お申込はメールもしくはお電話で

kenshincr@gmail.com

TEL:+852-3518-2425(平日9時~18時)

住所: Room 1007, 10/F Capitol Centre Tower II, 28 Jardine's Crescent, Causeway Bay, Hong Kong

Kenshin Asset Consulting (Hong Kong) Co.,Ltd. <http://www.kenshin.com/hk/> 社長ブログ: <http://blog.explore.ne.jp/kitsu/>